



消費生活センター相談室からのお知らせ

消費生活相談室



商品やサービスの契約に関して、
トラブルがあったときや
おかしい思ったときに相談できる窓口です。
専門の相談員が対応します。

詐欺 / 強盗 / の被害を未然防止！ ～ 知らない番号からの電話には出ないでください！～

公共機関や実在する企業、家族をかたって家族構成や資産状況などを聞き出そうとする電話に関する相談が全国の消費生活センター等に寄せられています。このような不審な電話は「アポ電」と言われていて、知られてしまった情報が、振り込め詐欺や強盗事件の被害の原因になっています。

<事例>



- 「市役所の職員です。還付金があるので、取引銀行と口座番号を教えてください。」
- 「消防署の職員ですが、一人暮らしですか？災害時の救助のために確認しています。」
- 「テレビの番組制作のためのアンケートです。年齢、家族構成を教えてくださいませんか？」

<被害にあわないために>

被害にあわないためには「**相手と話さない**」ことが一番大切です。

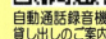
「知らない番号」「非通知の番号」「+から始まる番号(国際電話)」からの電話には出ないようにしましょう！

対策1 在宅中でも留守番電話にしましょう！

対策3 もし電話に出てしまっても名前を名乗らないようにしましょう！
会話をすると相手に個人情報聞き出されてしまいます。
すぐに電話を切りましょう！

対策2 電話に録音機能をつけましょう！

羽村市防災安全課で自動通話録音機を無料で貸し出しています。



(詳しくは、防災安全課 042-555-1111(216)まで)

対策4 誰かに相談しましょう！ 家族や身近な人、消費生活センターや警察に相談してください。

不安に思った場合や、消費者トラブルが生じた場合は、すぐに消費生活センターに相談してください。

ひとりで悩まず、まず相談！
専門の相談員がお話を伺います。
(秘密厳守・無料)

【相談日・相談時間】
平日 月～金曜日
午前9時30分～正午
午後1時～3時30分
☎(042)555-1111 ☎641
FAX (042)555-5535

詳しい内容や、わからないことがありましたら、消費生活相談室までご連絡ください。



◆消費生活センターで「令和7年/2025年 消費者トラブル防止カレンダー」を配布しています。

羽村市消費生活センターだよりNo.399

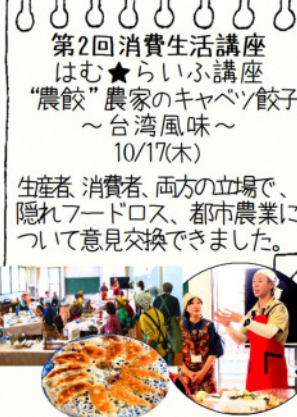
2025.1.1発行

はむらいふ

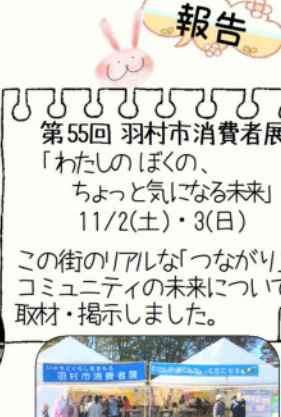
今年も
よろしくお願いします



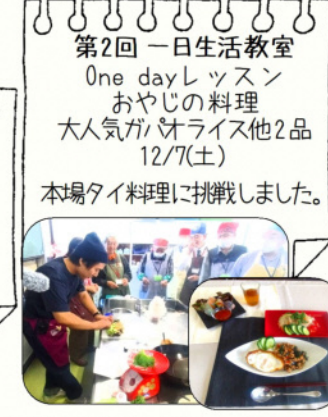
迎春



第2回消費生活講座
はむ★らいふ講座
“農餃”農家のキャベツ餃子
～台湾風味～
10/17(木)
生産者、消費者、両方の立場で、
隠れフードロス、都市農業に
ついて意見交換できました。



報告
第55回 羽村市消費者展
「わたしのぼくの、
ちょっと気になる未来」
11/2(土)・3(日)
この街の「アリアル」つながり、
コミュニティの未来について
取材・掲示しました。



第2回 一日生活教室
One dayレッスン
おやじの料理
大人気パティライズ他2品
12/7(土)
本場タイ料理に挑戦しました。

たくさんのご応募、ご参加、ご来場
ありがとうございました。

お知らせ

羽村市消費生活センター開設50周年記念
第45回羽村市消費者の日

「夢みる給食」無料上映

と
ミニマルシェを開催します！

食、農、そして学校給食に関心を持つみなさまが集まって、
給食のこと、都市農業のこと、食べること、生きること、
子どもたちのことなど、交流の中で「みんなの未来」を考
える輪を広げることができればと思います。

上映会

&
ミニマルシェ

3月23日(日)
9:30～12:30
開場 9:00

入場無料

【日時】2025年3月23日(日)

9:00～ 開場・受付
9:30～11:00 上映(小ホール)
11:10～12:30 ミニマルシェ

【場所】プリモホールゆとろぎ
(羽村市生涯学習センター)
羽村市緑ヶ丘一丁目11番地5

【費用】無料

※申込み等、詳細は、3月1日発行「広報はむら」と
チラシでご案内します。

ぜひ、お子さんも一緒にどうぞ～



オーガニック給食を夢みる市民、夢みる市長、夢みる農家を描く
ウルウル感動する エンターテインメント★ドキュメンタリー！

夢みる給食



監督★オオタ ヴィン 「いただきます」「夢みる小学校」
ナレーション★上野 樹里
エンディングテーマ★クラムボン

<https://www.mirai-lunch.jp/>
公式サイトより

〒205-0003
東京都羽村市緑ヶ丘5-1-30

羽村市消費生活センター
運営委員会発行



お問合せは消費生活センターへ ☎ 042-555-1111 ☎ 640

給食で
まちおこし？！

もっと知りたい！話したい！！

こどもと羽村が元気になる「給食」のこと

一番人気の
カレー給食♪知っておきたい
基本のデータ

① 学校給食の実施は義務ではない

学校給食は、学校給食法により
実施が努力義務とされています。実施するかどうか、どのような給食を提供するかは、
学校給食法や文科省の基準に沿って各自治体が決
めています。⇒ 調理施設も、自校 / センター / 親子 / デリバリー
(外注弁当) 方式などあり、小学生には給食があっても
中学生は弁当(持参か外注)という自治体も少なからず
あります。羽村では50年以上前から、小・中学生へ
完全給食(主食・牛乳・おかず)が提供
されているんだよ！② 給食費の全国平均は、小学生 4,688 円、
中学生 5,367 円(月額・令和5年5月1日)羽村市の令和6年度分は、小学生(中学年) 4,710 円、
中学生 5,570 円で、1食あたり(基準額)ではそれ
ぞれ280円と340円です。⇒ 食材費が高騰した今年度は、1食あたり40~50円
(1人7,370円~9,020円/年)の値上がり分を
市が負担していました。

③ 設置運営は税金、食材は保護者

学校給食法により、学校給食の施設や運営にかかるお金は
自治体が出すことになっています。食材費にあたる、いわ
ゆる給食費は、保護者の負担と定められています。⇒ 2025年1月から東京都では、すべての市区町村で給食
が無償化(全額公費負担)されます。無償化後は、給食費
の7/8を都が1/8を市が負担します。これは東京都独
自の政策によるもので、自治体ごとに事情が異なります。

④ 地元産食材の使用率：野菜は47%！

羽村市では、瑞穂町と共同で給食センターを設置・運営し
ています。センターで使用する野菜のうち、両市町の農家
から出荷されているのは、総使用量の半分近い約8万kg
(令和4年度)!!⇒ 羽村・瑞穂のこの実績は都内トップクラスで(有名な日野市
でも同年で30%ほど)、取り組み主体の「羽村市農業後継者
クラブ・学校給食食材生産部」の皆さんは、東京都農業会議
が主催する令和4年度企業的農業経営顕彰において、東京都
知事賞及び東京都農業会議会長賞を受賞されています👏

参考 HP：文部科学省、羽村市、羽村・瑞穂地区学校給食組合

羽村の給食を支える方々

羽村・瑞穂地区
学校給食センター

★一番大切にしているのは：

「こどもたちが笑顔で安心して
食べられる給食であること」安全で美味しい給食を提供するた
め、朝の検品時から緊張の連続。
一日が何事もなく終わったところで
やっと緊張がとけるそうです。

★献立ができるまで：

2ヶ月前に仮献立→納入業者の
見積り→選定委員会で検討→
試算をして調整→栄養価や食品
構成を考えつつ、前月中旬まで
に献立決定。

★苦労していること：

- どちらのセンターも老朽化が進み、冷房がないので(!!)夏場はスポットクーラーで対応している。
- 大規模調理で、食器が凸凹のワンプレート(+お椀2つ)なので、献立の組み合わせに制約が増える。
- 食材費の急騰で、献立作成にいつも以上の手間がかかっている。

毎日の給食にメッセージ性をもたせ、
家庭ではあまり食べられなくなっている
和食メニューをあえて入れたり、見た目
や盛りつけにも工夫をこらしているそう
です。献立にもたくさんの愛情が♡短時間での大量調理は重労働。野菜は
3回に分けて丁寧に洗浄されています。魚や豆、海藻の
伝統的な和食も
提供されています。
センターのHPで
毎日の給食写真が
みられます！

羽村の給食を支える方々

羽村市農業後継者クラブ
学校給食食材生産部畑や作業場へ
おじゃまして
話を伺ってきました！羽村で給食用野菜の生産を主に担う
(左から)石田正弘さん、宮川修典さん
田村克也さん、宮川豊さん
【写真：議会だより令和6年2月1日号より】羽村・瑞穂の給食で使う野菜の半量近くは地元産！
羽村では主に4名が協力して出荷されています(写真右)。

【出荷野菜】

契約野菜6品目(チンゲン菜、タマネギ、ニンジン
長ネギ、白菜、大根)をはじめ、時期ごとに旬の野菜

- 給食は「当日の朝に納品されたものを当日に調理」が
原則なので、ほぼ毎日センターへ届けます。
(小学校用には7:45、中学校用には8:00までに)

- ・ほぼ同じくらいのサイズのものを
- ・きれいに洗って(どろや虫を落として)
- ・虫がいない状態にして →コンテナにつめて納品

玉ねぎ300kg、といった注文が入ると
約1200個を届けるんだって！

- 前年度の実績をもとに契約を結ぶため、農家にとっ
ては確実に買い取ってもらえる等のメリットがあるが、
契約遂行のため、欠品がないよう他から仕入れなけれ
ばならない場合がある。

「給食は休むことができない」→「約束を守る」ことが
最も重要だが、最近の異常気象は野菜の生育に大き
な影響。

- 市内の畑では足りず、瑞穂や入間でも畑を借りて生産。
- 地場産の野菜を使っのメリットは新鮮!!なこと
新鮮=栄養価も高い。なによりもおいしい！
- 農家さんの願い

旬の時期は野菜が一番おいしい時です。
旬のものを食べさせたい。
野菜のおいしさをこどもたちに知ってほしい!!食べた感想も
聞けるとうれしい！この夏の猛暑では、野菜が給食に
提供できる品質に育たず、使用
率が下がってしまったそうです。

長年のご苦労あってこそこの都表彰

羽村の給食を支える方々

JAにしたま

JAにしたま
営農経済課
川野聡美さん給食センターと農家さんをつなぐ
重要な調整役を担っているのが
農協(JA)だよ。JAにしたまの
担当者さんのお話です。給食センターから一か月以上前に提供される
食材リストに基づき、その中で地場で出せる
野菜を近隣の登録農家さんをお願いしていま
す。安定した供給が確保できるよう、年単
位で出荷の契約をしています(契約栽培)。
また、JAが給食生産用に農業機械*を整備。
農家さんに共同利用してもらい、生産・労働
のサポートにも寄与しているんですよ。徐々に宅地化が進み、農家さんの働く姿を見
る機会が少なくなってしまうのは残念ですね。

*給食で使用量が多い玉ねぎの定植機と収穫機

取材・編集を終えて

私たちの体は食べたものでできています。成長めざましい時期
のこどもにとって、一日の食事の1/3(朝晩しっかり食べられていな
い子にとってはそれ以上)を占める学校給食はとても重要なもの。保護者としては、最近は試食会もなくなり(→学校やPTAの依頼
で実施可能とのこと)、支えてくださっている方々のこともよく知
らないまま、「食べるときには冷めて残念」「和食が苦手な残す子
が多い」など子どもからの情報を聞いて終わりになっていました。できれば給食には農業や化学肥料を使わずに育てた米や野菜、調味
料を使って欲しいとの想いで取材に関わりましたが、関わる方々に
話を聞くうちに、給食の内容についてはまず、保護者や市民が地域
のこどもや農業の未来をどうしていきたいのか、もっと深く考えて
意見を交わし、つながっていくことが大事だと知りました。国内外で、学校給食から地域を元気にする動きが出てきています。
羽村でも学校再編が検討されはじめた今、老朽化した給食センター
の今後を含め、当事者であるこどもの意見も聞いて、羽村ならではの
給食を考えていけるといいですね。ぜひ3月の映画と一緒にみて、
一緒に「夢みる」仲間になっていただけたらうれしいです!!